

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	① 汚染水貯蔵(タンク等)
御提案件名	漏えい検知付大型汚染水貯蔵タンク(タンカー活用)
御提案者	三菱重工業株式会社
<p>1. 技術等の概要(特徴、仕様、性能、保有者等)</p> <p>多核種除去設備にて主要な汚染物質を除去された後の処理水を既存のタンカー(2重隔構造)にて長期に保管することを提案するものである。</p> <p>① 特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2重隔構造(ダブルハル)方式。常時接液部で漏えいが発生しても2重部で外への漏えいを防止。 ・ 2重構造を利用して漏えい検知機能を設け、漏えいを常時監視する。 ・ 万が一にも海への流出を防止するため、タンカーは海より隔離して設置する。 ・ 10年以上漏えいを防止できる板厚(腐食代)を確保。 ・ 石油タンカーを利用することにより、新規設計を不要とし、かつ、品質を確保する。 ・ タンカー内は区画化されており、一つの区画が漏えいした場合、他区画へ液送可能。 ・ 洋上を自走或いはタグボートによる搬送にて、貯蔵設備としての大型化を実現。 ・ タンカーを海からの隔離する為に海岸工事が必要。 <p>② 仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タンク容量 約10万～30万 m³/艇 	
<p>2. 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開発・実用化の状況(国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む)タンカーの2重隔壁は石油タンカーにて活用済。 ・ 開発・実用化に向けた課題・留意点 開発要素はないが留意点として次項があげられる。 津波対策の考慮 設置場所の選定 海岸工事の工法の具体化 ・ その他(特許等を保有している場合の参照情報等) 	